

# 全住済業務季報

## MUFIS REPORT

2023.8

### Contents

#### 令和5年度定時総会報告

理事長挨拶	2
来賓挨拶 総務省 自治財政局財政課総務室長 柴田 敦司 様	2
来賓挨拶 全国知事会 事務総長 中島 正信 様	3
定款改正について	4
令和4年度事業報告及び決算について	5
補欠の役員の選任について	8

#### 新会員のご紹介

「北海道雨竜町」・「青森県むつ市」	9
「三重県鳥羽市」・「京都府長岡京市」	10
「奈良県上北山村」・「鳥取県岩美町」	11

#### 機構の動き

会員状況・被災報告	12
-----------	----

#### INFORMATION（機構からのお知らせ）

＜茨城・土浦フォーラム＞及び＜宮崎フォーラム＞開催のご案内 等	13
---------------------------------	----

編集後記	14
------	----

「MUFIS」は当機構の英訳文の「The Mutual Fire Insurance System for Public Housing」の略称です。

# 令和5年度定時総会報告

令和5年6月26日(月)、東京都千代田区大手町「KKRホテル東京」において、令和5年度定時総会を開催いたしました。(開会:14時)

会員総数697団体中、16団体の出席、委任状提出387団体及び議決権の行使に関する書面表決書の提出200団体の合計603団体で会員総数697の過半数に達し、定款第16条の規定により有効に成立いたしました。

麦島理事長の開会挨拶に続いて、総務省自治財政局財政課総務室長の柴田様、全国知事会事務総長の中島様からご挨拶があったのち、下記議案の審議を経て、すべて原案どおりに可決されました。

## 【審議事項及び議決事項】

- 第1号議案 公益社団法人全国公営住宅火災共済機構定款改正の件
- 第2号議案 令和4年度貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書及び財産目録承認の件
- 第3号議案 補欠の役員の選任の件
- 報告事項
  1. 令和4年度事業報告の件
  2. 令和5年度事業計画及び収支予算の件(令和5年3月27日理事会承認)
  3. 地域におけるフォーラムの開催の件



会場の様子

議長の前葉市長（三重県津市）

## 理事長挨拶



公益社団法人全国公営住宅火災共済機構 麦島 健志 理事長

会員の皆様には、日頃から、機構の業務運営に関し、ご指導、ご協力をいただいております。厚く御礼申し上げます。

本日は、定款の改正、令和4年度の決算等、議案を3件、令和4年度事業報告、令和5年度事業計画等、報告3件について、ご審議いただく予定にしております。

まず、機構の創立70年を機に昨年度初めて三重県津市と青森市で開催した地域におけるフォーラムについては、多くの皆様のご参加の下、改めて共済の意義を再確認する場とすることができたとともに、今後の機構の事業展開に関し多くの示唆をいただくことができたと考えております。総会資料65ページに、4月から会員の皆様などにご案内させていただいております今年度開催予定のフォーラムのチラシをのせております。茨城県土浦市と宮崎市で開催いたしますので、多くの皆様のご参加をお願いいたします。今後とも、コミュニケーションネットワークの構築を通じ、共済システムの一層の強化に取り組んでまいります。

議案の一点目は、総会資料の電子提供制度の導入に関する定款改正でございます。令和元年の一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の改正を踏まえた取組ですが、その趣旨、改正の内容をご説明申し上げ、ご審議いただければと思います。

議案の二点目決算については、経常費用に関連

し共済事業費の状況で申し上げますと、給付金等の支払い金額が対前年度比で増加しております。給付金で見ますと、過年度災に対する給付額が増加しておりますが、前年度に比べると、件数、戸数の増加の比率に比して給付額がそれを大きく上回る比率で増加している状況が見られ、近時の建築費等の上昇の影響が数字に出ている部分があると思っております。また、昨年度の災害の発生状況も、大規模な火災が引き続き発生したとともに、台風14号、寒波による被害などがあり、異常危険準備金で見れば、規程に基づく掛金の10パーセントの繰入を行う一方で、2,700万円余を取り崩すこととなるなど、一定の経費の発生が続いております。

経常収益については、共済拡大、資産の運用等に努め、前年度比で1,300万円余の増となり、人件費、共済事業費以外の事業費等は、予算時点で見込んだ経費の節減に努めましたが、全体で見ると、令和4年度決算は、金利の上昇等による特定資産の評価損等があり、当期の一般正味財産は540万円余の減となったところです。

さらに議案の三点目、補欠の役員を選任をお諮りすることとしています。ご退任になられた役員におかれては、大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

## 来賓挨拶

■総務省自治財政局財政課総務室長  
柴田 敦司 様



今年度は石川県能登地方で発生した地震災害をはじめ、先月から今月初めにかけては台風と梅雨前線による大雨の影響を受け、各地で線状降水帯が発生し被害が続出するなど、既に甚大な災害が多数生じております。

そうした中、御機構におかれましては、これまでも罹災した公営住宅の再建や見舞金の交付など意義深い事業を展開され、住宅困窮者等の生活だけでなく、被災地域全体の復旧・復興をもお支えいただいているように、公営住宅の相互救済制度は非常に大きな役割を果たしております。引き続きご支援賜りますようお願いいたします。

総務省といたしましても、公営住宅の多様なニーズに自治体がしっかり対応できるよう、その財源確保に努めており、今年度も前年度を上回る地方の一般財源総額を確保したところです。また、今月13日に閣議決定された「こども未来戦略方針」においては、自治体が引き続き積極的に子ども・子育て政策の強化に取り組めるよう、地方財源についても検討していく旨の方針が盛り込まれたところです。今後、地方の意見を十分に踏まえつつ、関係省庁と連携し、政策課題と解決の現場である地方の財源確保に鋭意取り組んでまいりたいと考えております。

## ■全国知事会事務総長 中島 正信 様



先ほど麦島理事長から給付金などの支払いがか

なり増えているというお話がありましたが、大規模な火災や災害が多く発生したことに、大変な懸念を持っております。今年も災害が既に発生していますし、この対応が大変大きな課題だと思っております。

皆様それぞれ公営住宅を管理されているお立場として、セーフティーネットである住宅をしっかりと管理をしていかなければならないわけですが、一方でさまざまな課題があって、その対応に苦勞していらっしゃると思っております。

例えば、建物自体が大変老朽化し、バリアフリーの対応もしていかなければいけない。その一方で、なかなか住宅が埋まらず空き家がある。そして、高齢化、単独世帯が多い中で、コミュニティをどのように確保していくか、という課題もございます。本当に多くの課題に、皆様日々対応していらっしゃるわけで、この機構の共済事業が、万が一のときの備えとして大変重要になってくるということも、改めて感じているところでございます。

今申し上げましたような皆様の課題とその解決の工夫、そうしたものを相互に情報を共有して、自らの管理に役立てていく。そのためのサポートをしていくことも、この機構の大きな役割なのではないかと感じております。

昨年参加させていただきました青森フォーラムでもいろいろな事例が報告されました。また、それぞれの皆様が交流を深められて、連携を深めていらっしゃることを目にさせていただきました。今年も秋に、全国2カ所(土浦市/宮崎市)で開催されますので、多くの皆様がそういう機会に、ネットワークを広げていくことがこれからの住宅管理の中でも役立つものと確信をしておりますし、そうした動きが広がることを期待しております。

## ■定款改正について

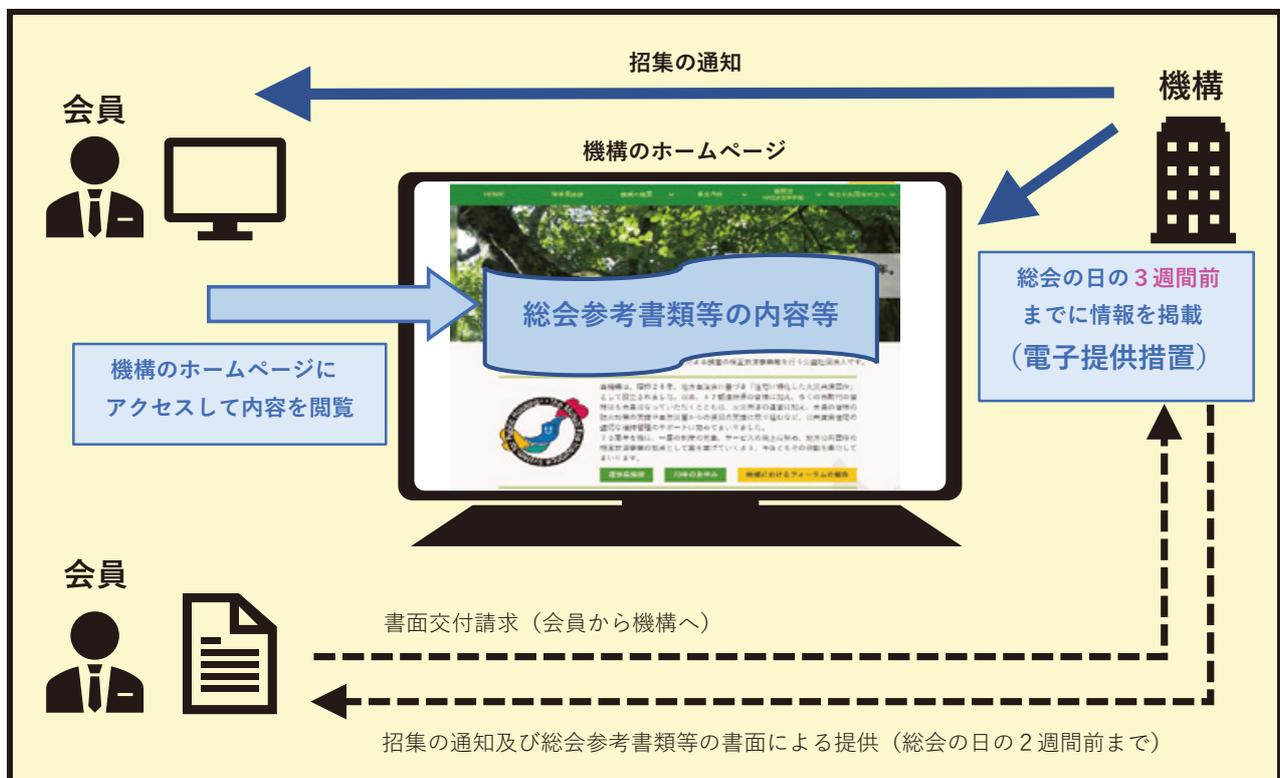
令和5年度定時総会において定款が改正(令和6年1月1日施行)され、総会参考資料などは、機構のホームページの会員サイトにアクセスして閲覧いただく方法に変更されます。

現在、総会での議決権の行使に参考となる書類等は、総会の招集通知に併せて書面でお送りしていますが、これをwebサイトに掲載したものを読んでいただく方法に改めるよう、定款改正が行われました。

総会資料の電子提供制度は、令和元年の一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の改正により認められたものであり、今回の定款改正は、これを踏まえたものですが、これにより、現在は総会開催日の2週間前までに総会招集通知と共に送付していた総会参考書類等が総会開催日の3週間前からウェブサイトでご確認いただけます。また、ペーパーレスの促進により、業務の効率化や経費の削減が推進できるところです。

なお、本制度導入後も、書面が必要との申し出をされた会員の皆様には、書面をお送りいたします。

本改正による取組は、令和6年1月1日以降に開催する総会から実施いたしますが、取扱いの詳細、具体的な手続き等については、今後規程の改正等を行い決定いたしますので、決定次第、改めてご案内させていただきます。



## ■令和4年度事業報告及び決算について

令和5年度定時総会において、令和4年度事業報告がなされるとともに、決算(貸借対照表、正味財産増減計算書等)が承認されました。いくつかの観点から、主要なポイントをご説明いたします。

※事業報告及び財務諸表等はHPからご覧いただけます。

< URL > <https://www.kojukyo.or.jp/pages/page/outline/information.html>



### ◆共済基盤の充実

- ・令和4年度から、3市2町1村が新規加入しました。また、2町が付保率を100%に、4町が付保率を65%以上に引き上げ、3町が一部加入を全戸加入に切り替えました。令和5年度からは、新たに3市が加入することになったとともに、3市町が付保率を引き上げ、1町が一部加入を全戸加入に切り替えたところです。

(参考)令和4年度末の会員数 697会員(都道府県47 市区町村650)

加入戸数 89万71戸

- ・令和4年度に初めて取り組んだ地域におけるフォーラムについては、令和4年10月3日～4日の「三重・津フォーラム」には73名、11月28日～29日の「青森フォーラム」には101名の参加があり、会員をはじめ参加者のコミュニケーションが深められ、改めて共済の意義を再確認する場とすることができました。
- ・令和5年度は、10月5日～6日に茨城県土浦市で、11月8日～9日に宮崎市で、地域におけるフォーラムを開催いたします。多くの皆様のご参加をお願いいたします。



令和4年度 三重・津フォーラムでの交流の様子



令和4年度 青森フォーラムでの意見交換の様子

定時総会にご出席いただきました土浦市長の安藤真理子様より、今年度開催の「茨城・土浦フォーラム」に向けてご挨拶をいただきました。



安藤市長(茨城県土浦市)

**◆機構の事業展開 ～共済事業費の状況～**

- ・令和4年度は、給付金等の支払い金額が対前年度で増加しており、給付金で見ると、過年度災に対する支払いを中心に、前年度に比べると、件数、戸数は10パーセント程の伸びの中で、給付額は35パーセント程増加しています。近時の建築費等の上昇の影響があるものと考えています。
- ・一方、令和4年度に発生した事業経費を見ると、火災共済給付金及び復興建築助成金は5億2,200万円と前年度より7,400万円減少したものの、大規模火災(概ね9,000万円の事案)も発生しました。また、住宅災害見舞金を見ると、9月に発生した台風14号(9,000万円弱)などの大規模災害や大雨、寒波による被害が多く、発生した経費は前年度より3,000万円以上増加しました。
- ・このような状況から、異常危険準備金は、規程に基づく掛金の10%の繰入を行う一方、2,700万円を取り崩すこととなるなど、一定の経費の発生が続いています。

**◆火災の発生、被害の拡大を抑える取組**

- ・引き続き大規模な火災による被害が発生している状況の中、事前の防火対策の重要性が増しています。住宅防火補助事業のうち、防火活動支援事業については、令和4年度に5会員の取組に対して補助により支援を行いました。令和5年度は、防火活動支援事業の限度額を引き上げるとともに、地域におけるフォーラム等において、会員による取組例を紹介していきます。本事業の積極的な活用を引き続きお願いしたいと思います。

**◆決算 ～資産の運用に関連して～**

- ・先に記した共済基盤の充実、共済事業費の状況の中で、令和4年度は経常収益については、前年度比で1,300万円余の増となり、経常費用については、共済事業費以外の経費は節減に努め、予算の時点で見込んだ金額の範囲内の執行となりましたが、令和4年度決算は、金利の上昇等による特定資産の評価損等があり、当期の一般正味財産は、540万円余の減となったところです。
- ・資産運用については、財産管理規程に従い、公益目的事業を実施するための重要な資金となる運用益の確保に努めているところであり、令和4年度は、私募リート3億円を追加取得するとともに、過去に取得した利回りの低い事業債を売却し、利回りの有利な事業債を取得するなどの取組を行いました。
- ・一方で、金利の上昇等により先に記した債券の時価評価損が発生しましたが、これらの債券は満期まで保有した場合には額面金額が償還される場所であり、引き続き適切な債券管理に努めてまいります。

## 令和4年度 正味財産増減計算書 参考資料

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

単位：円

収 益	当年度	前年度	増 減
火災共済掛金	1,174,880,522	1,158,945,111	15,935,411
普通責任準備金戻入額	▲ 671,000	▲ 987,000	316,000
賃貸料	65,159,946	64,772,016	387,930
特定資産運用益	35,785,631	39,468,650	▲ 3,683,019
雑収益（有価証券運用益）	7,499,573	7,076,594	422,979
雑収益（上記以外）	419,531	358,766	60,765
経常収益合計	1,283,074,203	1,269,634,137	13,440,066

費 用	当年度	前年度	増 減	
火災共済給付金・特定給付金・復興建築助成金 （支払備金繰入額含む）	480,514,140	656,179,244	▲ 175,665,104	
住宅災害見舞金 （支払備金繰入額含む）	187,861,000	166,098,200	21,762,800	
小 計	668,375,140	822,277,444	▲ 153,902,304	
住宅防火補助金	106,103,200	98,149,100	7,954,100	
共済事業費合計	774,478,340	920,426,544	▲ 145,948,204	
人件費	234,968,254	226,687,496	8,280,758	
その他事業費及びその他管理費	175,745,582	160,587,482	15,158,100	
	繰入額	117,490,000	115,890,000	1,600,000
	取崩額	▲ 27,110,000	▲ 185,800,000	158,690,000
異常危険準備金繰入額	90,380,000	▲ 69,910,000	160,290,000	
経常費用合計	1,275,572,176	1,237,791,522	37,780,654	

評価損益等調整前当期経常増減額	7,502,027	31,842,615	▲ 24,340,588
-----------------	-----------	------------	--------------

特定資産評価損益等	▲ 5,307,806	▲ 596,856	▲ 4,710,950
投資有価証券評価損益等	▲ 2,488,531	▲ 1,283,409	▲ 1,205,122

税引前当期一般正味財産増減額	▲ 294,310	29,962,350	▲ 30,256,660
----------------	-----------	------------	--------------

法人税、住民税及び事業税	5,220,000	5,020,000	200,000
法人税等調整額	▲ 55,000	35,000	▲ 90,000

当期一般正味財産増減額	▲ 5,459,310	24,907,350	▲ 30,366,660
-------------	-------------	------------	--------------

## ■補欠の役員の選任について

令和5年度定時総会において、欠員となっていた4名の役員が選任されました。

役職名	団体・役職	氏名
理事	宮城県 土木部住宅課住宅管理指導専門監	進藤 正人
理事	愛知県 建築局公共建築部公営住宅課県営住宅管理室長	松本 光功
理事	兵庫県 まちづくり部公営住宅管理課長	元佐 龍
監事	広島県 土木建築局住宅課長	奥野 功貴

任期:令和6年度定時総会終結時まで

### [新任役員]



<理事>進藤 正人 氏



<理事>松本 光功 氏



<理事>元佐 龍 氏



<監事>奥野 功貴 氏

## ■補欠の運営審議員の選任について

異動等により辞任した運営審議員の後任の運営審議員が、令和5年度第1回定例理事会において推薦され、理事長から委嘱しました。

	団体・役職	氏名
運営審議員	栃木県宇都宮市 都市整備部長	高橋 裕司
運営審議員	新潟県新潟市 建築部住環境政策課長	渡辺 正義
運営審議員	岐阜県 総務部管財課長	青木 伸泰
運営審議員	静岡県静岡市 都市局建築部住宅政策課長	清水 一弘
運営審議員	山口県 総務部管財課長	江崎 典司
運営審議員	佐賀県 総務部資産活用課長	椿原 淳子

任期:令和6年度定時総会終結時まで

## ～ 新会員のご紹介 ～

令和4年度定時総会開催日以降に当機構に加入された会員をご紹介します。

### ○北海道雨竜町(令和4年7月4日加入)

本町は、明治22年に六華族による組合農場が組織され、自然豊かな大地で発展してまいりました。基幹産業である農業では、「安全で良質なおいしい米づくり」を目標に、高品質米の生産を行っており、道内はもとより道外からも良質米の生産地として高い評価を受けています。また、ラムサール条約に登録され、世界的にも貴重な暑寒別天売焼尻国定公園の「雨竜沼湿原」があり、毎年多くの登山者が雄大な景色を楽しんでいます。



白川 久純 町長

#### ☆特産品

雨竜米、暑寒メロン など

#### ☆観光スポット

雨竜沼湿原 など



雨竜米



暑寒メロン



雨竜沼湿原

### ○青森県むつ市(令和5年4月1日加入)

むつ市は青森県北東部に位置する本州最北端の市です。釜臥山展望台から市街地を見下ろすと、まさか半島の特徴的な地形から成り立つアゲハチョウのような夜景を楽しめます。また、明治時代に旧海軍の港が出来て以降、共に発展し、近年では「大湊自衛隊グルメ」として旧海軍で食されていたものから開発した「海軍コロッケ」や、現役の自衛隊員と協力開発した「大湊海自カレー」「大湊Sora空っ！」など、歴史と地域色が一体となった食を味わえます。



山本 知也 市長

#### ☆特産品

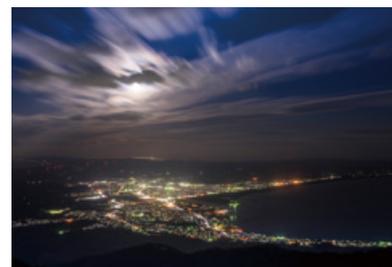
大湊自衛隊グルメ、一球入魂カボチャ、ホタテ、マダラ、焼き干し、海峡サーモン など



海軍コロッケ



大湊Sora空っ！



釜臥山展望台からの夜景

## ～ 新会員のご紹介 ～

### ○三重県鳥羽市(令和5年4月1日加入)

鳥羽市には、「鳥羽市水産研究所」という施設があります。令和2年に離島から本土へ新築移転しましたが、その1年後には三重大学水産実験所が研究所の隣に開所しました。以前から市内には、名古屋大学臨海実験所、鳥羽商船高専、ミキモト真珠島の真珠博物館、鳥羽水族館、海の博物館などの海に関する施設があり、さらに近隣には、三重県水産研究所、国立水産技術研究所も立地しています。狭い範囲の中にこれほどたくさんの海に関する施設がある地域は、世界的にも珍しいと思っています。さながら鳥羽市は「海のシリコンバレー」であると国内外から注目されています。



中村 欣一郎 市長

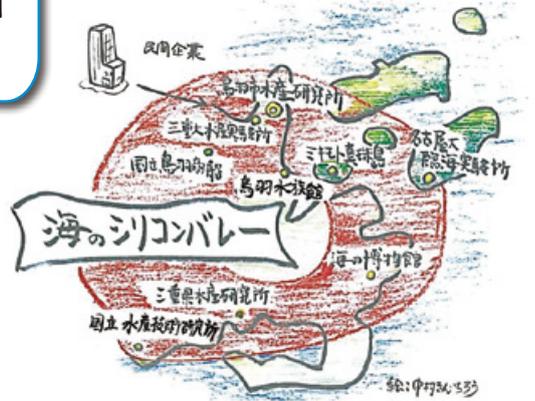
☆特産品  
真珠、ワカメ、海苔、伊勢エビなど



答志島トロさわら



牡蠣



### ○京都府長岡京市(令和5年4月1日加入)

京都盆地の南西部、西山連峰の麓に広がる長岡京市。本市の魅力の一つは交通の利便性の高さにあります。また、もう一つの魅力として、市域の約4割を占める西山に代表される豊かな自然があります。こうした交通の利便性と、豊かな自然や歴史が共存する本市の魅力を「かしこ暮らしっく 長岡京」という都市ブランドコンセプトで表現し、「住みたい 住みつづけたい 悠久の都 長岡京」を目指しています。



中小路 健吾 市長

☆特産品  
たけのこ など  
☆観光スポット  
光明寺、長岡天満宮 など



たけのこ



光明寺



長岡天満宮

## ～ 新会員のご紹介 ～

### ○奈良県上北山村(令和4年7月1日加入)

上北山村は奈良県南東部に位置しており、村域総面積の約97%を森林が占める、平地が極めて少ない地形です。村ではユネスコエコパークに認定され、百名山でもある大台ヶ原や大峰山をはじめ、清流の北山川や小椽川といった豊富な自然が多くあります。また世界遺産に認定されている大峯奥駈道、日本遺産の構成遺産となっている役行者の修行場であった笙の窟や銅造不動明王像など数多くの遺跡や寺社等の貴重な歴史的資源や文化財も有しています。



山室 潔 村長

☆特産品  
とち餅 など  
☆観光スポット  
大台ヶ原、行者還  
(ナメゴ谷) など



とち餅



大台ヶ原



ナメゴ谷

### ○鳥取県岩美町(令和4年7月1日加入)

岩美町は、鳥取県の最東北端に位置し、北は日本海に面し、東西約15kmにわたる海岸を総称して『浦富海岸』と呼んでおり、「山陰海岸国立公園」に指定されています。また、世界ジオパークネットワークに加盟した「山陰海岸ジオパーク」の一部でもあります。海域公園に指定されている海は、透明度が高く、暖流に乗ってきた亜熱帯魚も見られ、海水浴と併せてシュノーケルやシーカヤックなどのマリンスポーツが盛んです。



長戸 清 町長

☆特産品  
松葉がに、スルメ、  
モサエビ、天日干し  
板わかめ、マコモ  
タケ など



鴨ヶ磯



鴨ヶ磯と遊覧船



城原海岸海中

## 会員異動状況(令和5年4月～6月)

3市(むつ市・鳥羽市・長岡京市)が新たに加入、2市1町(気仙沼市・射水市・山梨県南部町)が退会し、令和5年6月末の会員数は697となりました。

区分	令和5年3月末	令和5年度 4月～6月期		令和5年6月末
		加入	退会	
都道府県	47	0	0	47
市区	300	3	2	301
町村	350	0	1	349
計	697	3	3	697

## 令和5年度被災報告(令和5年4月～6月)

### 1 火災共済給付金被災報告

原因	火災	落雷
令和5年4月～6月	8 (8)	1 (1)
昨年同期	14 (12)	2 (2)

※( )は当年4月～6月に発生した火災等の報告件数



< URL >

[https://www.kojukyo.or.jp/members/pages/page/library/hisaihokoku\\_ichiran.html](https://www.kojukyo.or.jp/members/pages/page/library/hisaihokoku_ichiran.html)

※被災報告一覧は機構HP(会員専用サイト)に掲載

#### 【火災🔥】

昨年同期に比べて件数、被災戸数ともに大幅に減少しましたが、8件のうち4件が全焼を伴う火災で、修復経費概算額が1,500万円を超える案件も報告されています。

#### 【落雷⚡】

例年6月頃までは落雷の報告は少なく、今年も同様の傾向です。なお、今回の被害はテレビアンテナの故障でした。

例年7～9月は落雷が多発する時期です。機構においても、落雷被害の70%がこの時期に集中しています(件数ベース)。エレベーターや受水槽ポンプ、緊急通報設備など、高額な電気設備が落雷を受けると、その被害は数百万円、時には数千万円にも及びます。大切な設備の機能を維持するためにも、可能な範囲で結構ですので、避雷器の設置等の効果的な雷対策を行っていただきますようお願いいたします。

### 2 住宅災害見舞金被災報告

災害原因	台風	強風	水害	雪害	地震	その他
令和5年4月～6月	1 (1)	2 (1)	1 (1)	3 (0)	1 (0)	8 (4)
昨年同期	0 (0)	5 (2)	0 (0)	6 (1)	11 (0)	4 (2)

※その他=凍結・不法行為・降雹など

※( )は当年4月～6月に発生した災害の報告件数

#### 【雪害】

住宅火災共済事業実施規程等施行細則において被災報告の期限は「被災した日の属する年度末まで」とお願いしていますが、雪害は雪が溶けてからでないと被害全容が判明しない場合があり、例年4月～6月に報告をいただくケースが多くなっています。令和4年12月～令和5年1月にかけての全国的な大寒波による雪害で、積雪による屋根瓦の破損や雨樋の破損が多く報告されています。

時間経過とともに原因を特定できないこともありますので、できるだけ早く被害状況を把握し、「被災した日の属する年度末まで」に報告を行っていただきますようお願いいたします。🏠

# INFORMATION

## 1 「共済事業の事務処理マニュアル」を改訂し会員の皆様へお届けしました

「共済事業の事務処理マニュアル」を改訂し令和5年6月に当機構ホームページ(会員ページ)に公開するとともに会員の皆様へ冊子をお届けしました。機構事業の内容を十分ご理解いただき、的確な事務処理にお役立ていただきますようお願いいたします。各事業の申込や請求等の事務処理は、オンライン申請システムにて行うことができますので是非ともご利用ください。

< URL > <https://www.kojukyo.or.jp/members/pages/page/manual/>



## 2 第1回臨時理事会・運営協議会を下記のとおり開催します(茨城・土浦フォーラムと同日開催)

■日時: 令和5年10月5日(木) ■場所: L'AUBE(ローブ) Kasumigaura

※役員及び運営審議員の皆様には、後日文書にてご案内申し上げます。

## 3 <茨城・土浦フォーラム>及び<宮崎フォーラム>を開催します

標記フォーラムを下記のとおり開催いたします。本フォーラムは、安心安全な公営住宅等を共に支えていく共助の理念を会員相互で共有するため、コミュニケーションネットワークの構築・深化に向けた取組のひとつとして実施するもので、今年度は茨城県土浦市と宮崎県宮崎市で開催いたします。(参加費は無料です。)出席を希望される場合は、当機構ホームページからお申込みください。

< URL > <https://www.kojukyo.or.jp/pages/page/about/2023forum.html>



	茨城・土浦フォーラム	宮崎フォーラム
日程	1日目 : 令和5年10月5日(木) 2日目 : 令和5年10月6日(金)	1日目 : 令和5年11月8日(水) 2日目 : 令和5年11月9日(木)
会場	L'AUBE(ローブ)Kasumigaura 〒300-0033 茨城県土浦市川口2-11-31 TEL:029-875-8888	宮崎観光ホテル 〒880-8512 宮崎県宮崎市松山1-1-1 TEL:0985-27-1212
申込締切	令和5年9月14日(木)	令和5年10月18日(水)
<1日目>		
14:30	開場	開場
15:00	開会 ・機構代表挨拶、業務説明 ・新規会員の声 ・開催地のプロモーションなど	開会 ・機構代表挨拶、業務説明 ・新規会員の声 ・開催地のプロモーションなど
16:00	講演:「アフターコロナの地方創生」 講師: 増田 寛也 氏 (日本郵政株式会社 取締役兼代表執行役社長、 元総務大臣、元岩手県知事)	講演:「アジア経済から見る 我が国地方のポテンシャル」 講師: 中尾 武彦 氏 (みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 理事長、 前アジア開発銀行総裁、元財務省財務官)
17:30	交流	交流
<2日目>		
9:30	会員の取組事例 ・防火活動支援事業の紹介や防火の取組事例など	会員の取組事例 ・防火活動支援事業の紹介や防火の取組事例など
10:00	講演:「持続可能な地域づくりをめざして」 講師: 末宗 徹郎 氏 (一般財団法人地域総合整備財団理事長、 元復興庁事務次官、元茨城県総務部長)	講演:「地域DX:共創の取り組み」 講師: 井上 裕美 氏 (日本IBM 取締役執行役員、 日本IBMデジタルサービス 代表取締役社長)
11:00	意見交換	意見交換

※内容・時間は変更になる場合がございます

## 編 集 後 記

今号では主に定時総会の報告と新会員のご紹介をいたしました。昨年度の総会以降、新たに6会員にご加入いただいております、たくさんの美しい風景や特産品の写真を掲載することができました。

個人的な感覚ですが、パソコンやスマートフォンで写真を十分きれいに見ることができても、その写真が印刷物になって目の前に現れると嬉しく感じます。当誌は隔号で電子版となっておりますが、今号は製本版も作成して会員の皆様へ郵送しています。新会員のたくさんの写真を冊子でお届けできる機会ですので、ぜひお手に取ってページをめくっていただけたら嬉しいです。

(C.S.)

## 全住済業務季報 (MUFIS REPORT) 2023.8

令和5年8月発行 / No.208

発 行：公益社団法人全国公営住宅火災共済機構

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目3番17号 虎ノ門2丁目タワー 21階

TEL 03 (3501) 9479 FAX 03 (3501) 6914

<https://www.kojukyo.or.jp> E-mail [kjk@kojukyo.or.jp](mailto:kjk@kojukyo.or.jp)

編集協力：SEI ビジネスクリエイティブ株式会社

本誌掲載記事の転載等をご希望される方は、当機構までご連絡下さい。

## 会員の皆様へ

火災や自然災害により被害を受けた場合には、速やかに「被災報告書」のご提出をお願いいたします。

	対象事業	書式*	方法(共通)
火災	火災共済給付金	別記様式6	①オンライン申請システムによる送信 ②E-mailまたはFAXによる送信
自然災害	住宅災害見舞金	別記様式9	

※書式は機構ホームページよりダウンロード可能

< URL > <https://www.kojukyo.or.jp/pages/page/business/rulelist.html>



※手続きの詳細につきましては、機構発行の「共済事業の事務処理マニュアル」をご覧ください。

最新版は機構ホームページ(会員ページ)にて掲載しております。

< URL > <https://www.kojukyo.or.jp/members/pages/page/manual/>



< 問い合わせ先: 事業部 >

T E L: 03-3501-9497

F A X: 03-3501-6914

E-mail: [jigyuu@kojukyo.or.jp](mailto:jigyuu@kojukyo.or.jp)



< 交通のご案内 >

地下鉄日比谷線「虎ノ門ヒルズ」駅下車 徒歩3分

地下鉄銀座線「虎ノ門」駅下車 徒歩5分



公益社団法人全国公営住宅火災共済機構

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目3番17号 虎ノ門2丁目タワー21階

TEL 03-3501-9479(総務部)・9497(事業部)・9498(企画調査部)

FAX 03-3501-6914

<https://www.kojukyo.or.jp> E-mail: [kjk@kojukyo.or.jp](mailto:kjk@kojukyo.or.jp)

公営住宅 火災共済

検索

